

平成26年第1回当別町議会定例会

平成26年第1回当別町議会定例会は、3月4日から18日までの日程で開催し、補正予算、議員提案などを審議しました。

意見書

- ①町村税財源の充実確保を求める意見書
②食の安全・安心の確立を求める意見書

全会一致により採択

請願・陳情

平成25年第6回定例会で付託

◇2014年度地方財政の確立に関する要請書

陳情者 自治労北海道本部 執行委員長 山上 潔
自治労北海道石狩地方本部 執行委員長 垣野 訓男
自治労当別町職員組合 執行委員長 石川 公隆

全会一致により採択

◇仮称当別町立図書館設置に関する陳情書

陳情者 当別ライブラリーファン 代表 堀江 三千代
当別町PTA連合会 副会長 鈴木 信行
当別町子ども会育成連合会 会長 片岡 孝治
当別文芸の会 会長 河地 良一

全会一致により趣旨採択

◇希望する教職員全員の再任用と、必要な道府県への交付税措置を国に求める意見書提出を求める陳情書

陳情者 北海道高等学校教職員組合連合会
中央執行委員長 國田 昌男
全北海道教職員組合 執行委員長 西野 誠

反対討論（陳情書に賛成＝柏樹議員）

今年4月から支給開始年齢が繰り下げられ無年金状態になる。

委員会報告では「再任用は若手の就業機会を奪う」としているが、35人学級の実現でも中3まで新たに多数の先生が必要とされる。札幌市でも「希望する教員は原則すべて再任用し、年齢バランスも考慮した配置に努める」と議会答弁しており、「若者と高齢層を対立させるやり方」を容認・当然視したような風潮こそ議会が戒めべきと考えます。雇用と年金の接続を確実にする責任

は国に求められ、国が財政支援を必要とする道府県に対し交付税等の措置を講じるよう求める陳情書に賛成です。

賛成多数により不採択（反対：柏樹議員、島田議員）

◇「教育費無償化」の前進を求める意見書の提出を求める陳情書

陳情者 北海道高等学校教職員組合連合会

中央執行委員長 國田 昌男
全北海道教職員組合 執行委員長 西野 誠

反対討論（陳情書に賛成＝柏樹議員）

高校進学率97%を超えた「準義務教育」ともいえるべきもので、その無償化は世界の流れです。文部科学省も経済的理由による高校中退者が減少し、一定の効果を認めている。同じ条件で学ぶことは教育効果上も必要です。所得制限の導入は、親の経済力で同じクラスで学費が無償の子と有償の子が生まれ、困難を抱える教育現場、生徒間等に差別・トラブルが生まれる危惧をし、無償化を継続させることに賛成です。

賛成多数により趣旨採択（反対：柏樹議員、島田議員）

◇西当別地区スウェーデン大通り改修、改良についての陳情

陳情者 西当別連絡協議会 会長 古田 殷保
太美寿町内会 会長 池田 省司
太美スターライト町内会 会長 伊畑 能孝
太美北町内会 会長 石田 洋三

全会一致により採択

◇「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の採択を求める陳情

陳情者 生活クラブ生活協同組合北海道北斗支部

運営委員 山路 めぐみ

全会一致により一部採択

補正予算

■一般会計補正予算

補正額 2億8,416万円
総額 80億4,642万円

全会一致により可決

■国民健康保険特別会計補正予算、介護保険会計特別会計補正予算、介護サービス事業特別会計補正予算、下水道事業特別会計補正予算、水道事業会計補正予算

全会一致により可決

条例改正

■当別町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例

■当別町部設置条例 ■当別町美しい景観委員会条例 ■当別町政策評価委員会条例 ■当別町廃棄物の減量及び処理に関する条例

全会一致により可決

条例制定

■平成26年度における当別町長等の期末手当減額に関する条例 ■平成26年度における当別町教育委員会教育長の期末手当の減額に関する条例 ■手数料および使用料の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例 ■当別町介護認定及び障害支援区分認定審査会条例 ■当別町社会教育委員条例 ■当別町図書館像検討委員会条例

全会一致により可決

人事

■副町長の選任について



略歴

昭和 60 年 4 月 当別町奉職
平成 15 年 4 月 企画部秘書課長
平成 19 年 4 月 企画部長

白樺町在住 増輪 肇氏

全会一致で同意

その他

- 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更の協議について
- 当別町地域集会施設に係る指定管理者の指定について

全会一致により可決

平成 26 年度予算決まる

一般会計予算

77 億 1,503 万円

(対前年度比 2.5%増)

総 額

135 億 7,267 万円

会計別予算 (対前年度比 1.3%増)

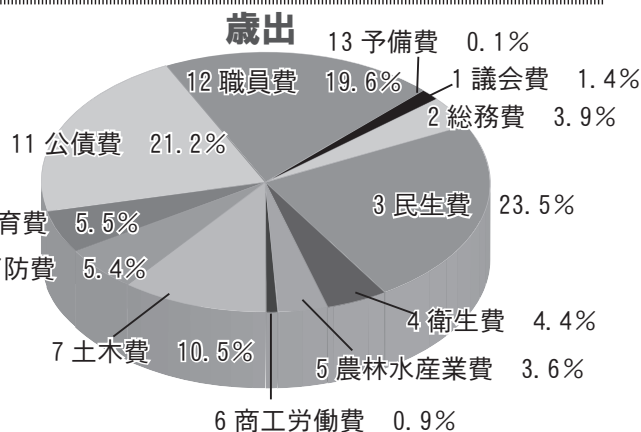
議会は、議長を除く全議員で構成する平成 26 年度当別町各会計予算審査特別委員会を設置しました。

予算委員会は、付託された一般会計と 5 つの特別会計歳入歳出と水道事業会計の平成 26 年度予算案および関連する議案等について、平成 26 年 3 月 13、14、18 日に審査を行い、原案のとおりと可決すべきものと決定しました。

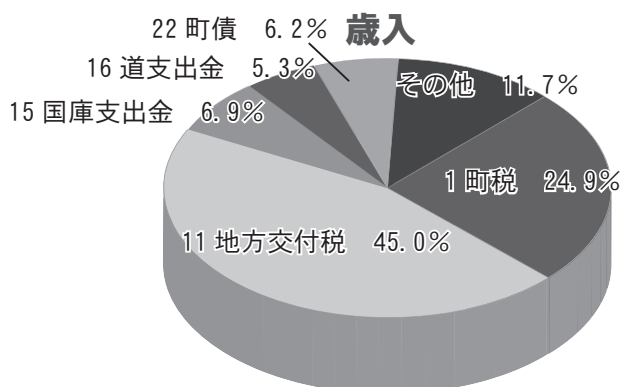
なお、3 月 18 日の定例会で、下記のとおり委員会の報告がありました。

会計別予算	
一般会計	
77 億 1,503 万円	
特別会計	
国民健康保険	
23 億 8,023 万円	
後期高齢者医療	
1 億 9,678 万円	
介護保険	
12 億 8,893 万円	
介護サービス事業	
7,105 万円	
下水道事業	
9 億 6,656 万円	
水道事業	
9 億 5,410 万円	

歳出予算額	
1 議会費	1 億 431 万円
2 総務費	3 億 135 万円
3 民生費	18 億 1,184 万円
4 衛生費	3 億 3,900 万円
5 農林水産業費	2 億 8,078 万円
6 商工労働費	6,967 万円
7 土木費	8 億 1,270 万円
8 消防費	4 億 1,771 万円
9 教育費	4 億 2,060 万円
10 災害復旧費	5 千円
11 公債費	16 億 3,883 万円
12 職員費	15 億 1,323 万円
13 予備費	500 万円
歳出合計	77 億 1,503 万円



歳入予算額	
1 町税	19 億 2,097 万円
2 地方譲与税	1 億 4,558 万円
3 利子割交付金	406 万円
4 配当割交付金	328 万円
5 株式等譲渡所得割交付金	57 万円
6 地方消費税交付金	1 億 9,026 万円
7 ゴルフ場利用税交付金	3,009 万円
8 自動車取得税交付金	1,477 万円
9 国有提供施設等所在市町村助成交付金	883 万円
10 地方特例交付金	501 万円
11 地方交付税	34 億 6,894 万円
12 交通安全対策特別交付金	350 万円
13 分担金及び負担金	6,250 万円
14 使用料及び手数料	1 億 5,484 万円
15 国庫支出金	5 億 3,397 万円
16 道支出金	4 億 1,269 万円
17 財産収入	1,407 万円
18 寄附金	330 万円
19 繰入金	1 億 1,189 万円
20 繰越金	5,000 万円
21 諸収入	9,762 万円
22 町債	4 億 7,830 万円
歳入合計	77 億 1,503 万円



平成 26 年度当別町各会計予算審査特別委員会報告書から抜粋

予算審査では、町長が所信表明及び町政執行方針で述べた 4 つの施策や除排雪事業について、活発な質疑が展開された。いずれの施策展開を図る過程においても、広く町民の意見を取り入れるとともに、適正な予算執行に万全を期せられたい。

平成26年度 当別町各会計予算審査特別委員会 (3月13、14日)

主な質疑内容

総務費

質問者 柏樹・島田・桐井各委員

Q まるごとまちごとハザードマップの看板の設置場所はどこか。

A 本町地区は当別小、当別中、ふれあい倉庫、白樺コミセン、総合体育館の5ヶ所。太美地区は西当別小が2ヶ所、西当別中、獅子内会館の計4ヶ所。

Q 非常用電源搭載車はどれだけの電源になるのか。

A 事務所の電源を賄うほどの容量はなく、4人家族1日5、6時間使用で約10日分である。

Q 利用するのは誰か。また町には緊急の電源は装備されているか。

A 本庁舎に自家発電装置は設置されていない。電源搭載車は例えば避難所などの施設において使用を考えている。

Q 企業誘致で来年度、栗山町、白老町と共同で開催するセミナーの成果目標は。また、当別の魅力をどう伝達するのか。

A 130社の来場を見込み、企業へのプレゼンと名刺交換により、当別に関心を持ってもらうことを目標としている。4車線開通し、道の駅も建設する国道337号は、大規模な流通道路として可能性があることや、ロイズのような大企業が進出している実績をPRする。

Q 夏至祭の組織体制を見直すとのことだがどういう検討をするのか。

A 町内の関係の方と町挙げての祭りはどのようにすべきか夏至祭も含め議論したい。

Q ふるさと納税で、高額な記念品を取り入れる考えはあるのか。

A 現在の記念品は、1万円以上の寄付に一律1品だが、記念品を複数用意し、選択できるようにするとともに、3万円以上は3品、5万円以上は5品送ることなど拡充を検討している。

衛生費

質問者 石川・小早川各委員

Q 乳がん、子宮頸がん検診を一度も受けていない方はどのくらいか。また未受診の方への対応は。

A 対象の約30%が受診している。未受診の方へは再度無料クーポン券を発行し、受診勧奨を強化する。

Q 各墓地管理業務委託料のうち、東裏墓地の整備はいくら予算化しているか。

A 東裏墓地の排水関係で暗渠整備は46m、52万円を見込んでおり、整備は一区切りとなる。

農林水産業費

質問者 西村・柏樹・島田各委員

Q 道の駅の基本計画作成業務委託はいつ委託される予定か。業務委託を受ける業者の立場は。プロジェクトチームの職員の体制は。

A 基本計画は4月に入札を行い、10月末までの委託期間である。計画終了後、11月から基本設計に入り、3月末までに終えたい。委託業者には、図面の設計から、プロの専門家の立場で、基本計画書のチェックをしてもらい、必要であれば道の駅のタスクフォースに入ってもらい、基本設計を進める際の体制は、プロジェクト推進室が事務局となり一緒に検討していく。

Q 農協や議会などのかかわりはどう想定しているか。

A 現在タスクフォース立ち上げの準備中で、想定はしていないが、その方々、必要性等、メンバーが決まったら協議をしながら、適切に検討していく。

Q 再生可能エネルギーではどのような活動をするのか。活性化センターは、具体的にどんな事業に対し補助をしているのか。

Q (関連) 活性化センターと道の駅は連携しないのか。

A エネルギー施策の部分では予算計上はしていない。

とうべつブランド認証事業、新規作物導入研究事業、グリーンツーリズムの3つの取り組みの事業費として補助をしている。必要に応じて活性化センターとの連携も各団体との協議で進めたい。

Q 再生可能エネルギーの今後の進め方は。

A 予算措置が可能となった段階で、賦存量調査や実現性の調査を行い、並行して具体的なプロジェクトの実施、あるいは実施に向けた計画の策定を考えたい。

Q 活性化センターに対する補助金はどのような考えか。軽トラマーケットと町の関わり方は。

A 活性化センターの補助金の積算にあたり、町の農業関係団体に対する補助規則で予算の範囲内で補助する。活性化センターはブランドのPRという部分で、軽トラマーケット開催時に出て、札幌市民にPRをしているので、活性化センターとともに開催する考えである。

Q 構成団体として入っていたときの支援の仕方と退会後の支援の仕方は変わったのか。

A 町が構成団体だったときは、職員も派遣し、町がやや中心となって運営していたが、退会後はブランド化を進める、農業の振興につながる、町の経済化につながることを進める団体として支援をしていく。

土木費

質問者 西村・柏樹・桐井・小早川・秋場各委員

Q 除排雪で町道、歩道などの契約方法は、一括しての契約か。また

契約方法は随意契約か。委託業務及び工事請負業務の契約方法は随意契約か一般競争入札か指名競争入札か。

A 一括しての発注業務である。町内の除排雪可能な業者ということで1社随意契約している。工事については財務規則により指名競争入札または1社随意契約である。

Q 生活道路と幹線道路の比率は26年度はさらに広げるのか。業者が不足、ダンプも不足し結果、排雪が遅れてしまった今年の教訓から町はどう取り組むのか。

A 生活道路から約2割ほど幹線道路へ移したことで、地域住民の方からわかりづらかったところが明確になったので、25年度と同じ道路区分の中で進めたい。排雪作業の遅れは、ダンプ不足が一番の要因と考えているが、ダンプ、業者、オペレーターの確保は継続して努力していく。

Q 雪対策の地域負担について、予算編成の段階で議論になったのか。

A 道路区分の見直しが整ってから議論をすることで進めてきている。

Q 今回、陳情として採択されたスウェーデン大通の補修、修繕は予算計上で対応可能か。公営住宅も大変傷んでいる部分もあるが予算計上で対応可能か。

A 26年度はLEDを使用した道路照明灯の修繕と路面は危険性のあるところの局部的な修繕として予算計上している。町営住宅は例年の修繕料と春日団地屋根塗装の2棟分を予算計上している。

教育費

質問者 柏樹・稲村・石川・島田各委員

Q 給食のアレルギー問題について、アレルギー持った子どもたちはどれくらいいるか。またどういう対応をしているか。

A 25年度、小学校においては23人、中学校は24人。対応については代替食の提供をしている。

Q 総合体育館や役場庁舎の自動販売機を置いている場合の電気料は本来どこが管理するのか。

A 電気料は自販機に子メーターが付いているので、団体が施設に納める仕組みになっている。

Q エピペンの使用はあったか。就学援助費について、該当者にはいつ頃支払われるか。

A エピペンを使用したことはない。支払いは5月上旬である。

Q 一貫教育の先進地視察の旅費について、何人行くのか。当別町図書館館長検討委員会を設置するというところで、委員会は何回行うのか。

A 視察は教育長ほか担当職員等5名である。委員会は5回を予定している。

Q 検討委員会を立ち上げる目的は何か。結論はいつまでに出すのか。

A 当別町にふさわしい図書館像を検討する委員会で、建設のことも含めた中で、今の学習交流センターの活用や複合施設等全体を検討する。結論は2年以内に出したいと考えている。

歳入

質問者 柏樹・島田各委員

Q 揮発油譲与税及び重量譲与税が年々下がっている理由は。自動車取得交付金の大幅減の理由は。

A 地方揮発油譲与税の地方財政計画の増減率がマイナス1.7%、自動車重量譲与税がマイナス1.5%、また自動車取得税交付金がマイナス49.9%と示されているため。

エピペンとは

アナフィラキシーがあらわれたときに使用し、医師の治療を受けるまでの間、病状の進行を一時的に緩和し、ショックを防ぐための補助治療剤（アドレナリン自己注射薬）である。

あくまでも補助治療剤なので、アナフィラキシーを根本的に治療するものではなく、エピペン注射後は直ちに医師による診療を受ける必要がある。



平成26年度当別町会計予算審査特別委員会
山田委員長（写真左）小早川副委員長（写真右）

Q 都市計画税の土地分の現年課税分が下がっているのは。土地建物貸付収入の土地の財政と教育の部分が昨年より上がっている理由は。

A 土地の評価額が下落しているため。

旧中小屋中学校グラウンド及び校舎敷地で木材の貯木場として貸すため増加している。

青山交流館グラウンドの貯木場である。

Q 各団地の入居状況は。使用料が下がるのは空き室が増えたためか。

A 団地は全体で494戸入るうち405戸が入っている。例年10月末の使用料の家賃を算出し、経年分3%減、徴収率を5%減した中で算出している。

Q 25年度は24年度に対し、どのくらいの利用者減か。

A 白樺コミセン、24年1380件が25年1012件。西コミセン、2104件から1615件。総合体育館、2376件から1779件である。

Q 手数料改正の議案が出るが、前年度利用者が減れば毎回値上げをする考えか。

A 使用料、手数料は3年ごとに見直しをし、原価計算を行い、1人当たりの使用料を算定した。近隣市町村の状況を調べると200円が多かったので、そこも参考として改定した。

Q 料金改定により、利用者は減ると思うが。

A 利用者が減少にならないよう改善したい。

起草委員会

委員長	桐井	信征
委員	岡野	喜代治
委員	秋場	信一
委員	西村	良伸

※予算委員会の審査結果の報告文書を作成する委員会